

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [宮原 麻美] (美術部14名)

交流相手国 [アメリカ]

海外学校名 [Scales Mound Community Unit District #211] 担当教諭名 [Karen Kelly]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクトで世界につながろう	70

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	I'm happy to have been born in this world (この世界に生まれてきてよかった)
絵に込めたメッセージ	アメリカと日本、それぞれ歴史も風土も文化も違うけれど、同じティーンエイジャーとしての「今」を描きたいと思いました。夢や楽しいこと、その反対のシビアな現実を対比させて描きました。日本とアメリカの中学生の内面の共通点や相違点が表われていますが、一つの作品として統一感のある仕上がりになりました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今年度は、今の自分たちしか描けない事は何だろう？と考え、内面的な世界をイメージして描くことになりました。表面的になりがちな国の文化や歴史、風土の違いだけでなく、自分たちの目線で考える事ができました。アメリカ側が日本側の雰囲気にも調和し美しく仕上げられていて、生徒たちは感動していました。	フォーラムやクリスマスカードでの交流はできましたが、日程的な問題や、日本側の余裕の無さでテレビ会議ができず残念でした。せっかくなので生徒たちに経験させてやりたかったです。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
やってみて、壁画制作は手間も時間もかかり、休日返上で大変だったが、最初考えていた以上に良い作品が描けた。更に相手校が日本側の意図を尊重して、調和を大切に、美しくあげてくれたので、とても感動していた。フォーラムの写真やカード、お菓子などでも、相手側に一層興味を持ったようだった。	アメリカとは2校目であるが、その地域ごとの生徒の状況も違うし、担当の先生のカラーも違う。今回は、とても丁寧に対応してくださる先生で、個人的にも家族の話をしたりして楽しく交流を深める事ができた。エントリーシートでは相手校がテレビ会議を希望しておられたのに、提案できなかった事が残念だった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	10月	自分のネームカードを作り、写真を撮った。自己紹介カードを書き、その内容を写真と一緒にフォーラムに載せた。	アメリカの生徒が You-tube で生活の様子を動画で紹介してくれ、興味深そうに見ていた。フォーラムの相手校の自己紹介も嬉しそうに見ていた。	部活動
テーマ学習	9月 10月	アメリカについて各自が好きなテーマで調べ学習をし、発表があった。テーマを出し合う中で、今の自分たちにしか描けないものを描こう、という事になった。	最初はステレオタイプの「日本的」なものを描くイメージが強かったようだが、中学生の視点で考えた時、いろいろな意見がでてきた。あまり具体的でなく、イメージ表現になった。	部活動
構図決定	10月 11月	アイディアスケッチを出し合い、良かったものから構図を決めていった。目や横顔の形をしっかりとるために写真を撮って工夫した。	自分たちの目や横顔の写真を見て、組み合わせるのも楽しそうだった。	部活動
壁画制作	11月 12月	12月は毎土曜日の午前中を壁画制作にあてた。他の行事も重なり、忙しかったが、まとまった時間がとれて、制作も早く進んだ。	初めてテントアートで色塗りをする1年生も、発色の美しさや塗りやすさを楽しんでいた。風邪が流行り、人数が減った時は協力し合って頑張った。	部活動
鑑賞・振り返り	3月	3月初めに壁画が到着。感想シートを書き、その後交流会を持った。校内に展示し、修了式での紹介を予定している。学校 HP にも掲載予定。	完成した壁画を見て、仕上がりの美しさ感動していた。友だちの感想からも、あらためて学んだようだ。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	2	今回はリアルな中学生がテーマだったので、自文化の理解まではあまり深まらなかった。
異文化の理解	B	4	あまり知らなかったイリノイ州の事を写真や動画でいろいろ知ることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	自己紹介はチャレンジ部に頼んで訳してもらった。送られてきたお菓子の袋の英文を分担して訳して交流した。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	電子黒板は使いづらくて、不十分だった。ネットでの情報収集については主に生徒が自宅で行った。図書館も利用した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	部内では学年を越えたコミュニケーションの機会が増えて、仲良く制作に取り組めた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	休日寒い中登校して、しんどい時もあったが、協力しあいながら粘り強く制作に取り組めた。
学習を追究する意欲	B	4	過去の先輩たちの壁画作品を見たり、シュールレアリスムの作品展を見たり、美術部展の写真を見たりして、研究していた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	下絵を発展させながら、自分の分担部分の表現方法を考え、協力しながら仕上げる事ができた。
作品を鑑賞する力	A	5	届いた壁画を見て感動し、各々が自分の印象を感想シートをしっかりと書けた。